

資料 3

平成 29 年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 6 月 28 日

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	期間・回数	参加者数	学習成果	主な講師
1	柳沢公民館	若者の就労を考える講座	地域づくり	平成 29 年 2 月 18 日 ～ 3 月 11 日	延 40 人	高度経済成長期と比較しつつ働き方をめぐる現在の問題を考察した。	中野浩太郎(西東京シネマ倶楽部)、大塚博康(元不動産業)、町田栄一郎(三幸自動車社長)、大内俊(国際経済学者)
2	柳沢公民館	講演会「認知症とともに、自分らしく暮らし続けるために」	学習	平成 28 年 10 月 23 日	延 75 人	認知症についての知識、関わり方、ともに暮らしていくための考え方などを学んだ。また東京老人ホームの取り組みを学んだ。	渡辺浩文 (武蔵野大学准教授)

3	柳沢公民館	子育て中の外国人女性のための日本語講座	学習	平成28年5月13日～7月15日、9月2日～12月9日、平成29年1月13日～3月10日 毎週金曜日 全34回	延256人	日本語の学習とともに、児童館や子育て広場、幼稚園・保育園、防災、医療機関の受診の仕方など、暮らしに必要な情報を知る機会となった。	平成23年度・24年度柳沢公民館主催「外国人のための日本語講座」スタッフ養成講座修了者。市内日本語教室ボランティア経験者。
4	柳沢公民館	地域防災講座 「みんなでいのちを守り、助けあうために」	地域づくり	3月2日・16日 各木曜日 全2回	延14人	避難所運営ゲームとまち歩きを通して、災害時に特別な配慮を必要とする隣人がいることに気づくきっかけとなった。	青木千恵・日向野みどり（特定非営利活動法人・男女共同参画おた）
5	柳沢公民館	雇用・労働問題講座パート1 「STOP！過労死・過労自死～今わたしたちにできること～」	学習	3月5日（日） 全1回	延9人	実例や統計資料等から、過労死・過労自死を生み出す社会背景について考えた。	高須裕彦（一橋大学大学院社会学研究科フェアレイバー研究教育センター・プロジェクトディレクター） 青野恵美子（明治大学労働教育メディア研究センター・客員研究員）
6	柳沢公民館	雇用・労働問題講座パート2 「パワハラバイトは許さない～若者の職場をチェック！～」	学習	3月26日（日） 全1回	延7人	学生アルバイト実態調査アンケートにより、高校生・大学生のアルバイトの現状を知るとともに、労働者の権利について学んだ。	同上

7	柳沢公民館	郷土史講座 「御門訴事件を知っていますか？～明治初期に起きたこと～」	学習	2月28日～3月14日 毎週火曜日 全3回	延65人	画像も活用した講義や、資料、フィールドワークを通して、御門訴事件について学んだ。	飯畑幸男（「御門訴事件を伝えていく会」会員） 他2名
8	柳沢公民館	現代社会を考える講座 「沖縄の戦後史を知る。そして、考える。」	学習	1月21日～2月25日 ※2月11日を除く 毎週土曜日 全5回	延127人	史料を読み、講義を受けることを通して、沖縄戦と沖縄の戦後史を学んだ。現在、受講者有志が講座の記録づくりに取り組んでいる。	戸邊秀明（東京経済大学経済学部准教授）
9	柳沢公民館	編集講座 「地域雑誌『谷根千』がやってきたこと・できたこと～地域誌でまちづくり～」	地域づくり	2月23日・3月23日 各木曜日 全2回	延29人	『地域雑誌「谷中・根津・千駄木」』の発刊から終刊までの26年のあゆみと編集・発行に携わったスタッフの地域活動等を学んだ。	山崎範子（編集者。元『谷中・根津・千駄木』発行人）
10	谷戸公民館	農業を知る講座	地域づくり	平成28年6月18日（土）～平成29年3月25日（土） 土曜日午前 43回	延1238人	1年間の野菜栽培を通して収穫の喜びを体感。集団作業での互いの協力、残された農地の機能と保全を考察した。	小松光一（大地を守る会顧問）、小野紀之（環境教育コーディネーター）、保谷隆司（市内農家）、青木満（薬剤師、鍼灸師）、池田干城（東京都二級緑のボランティア指導者）、菜の花エコ